

平成29年度

札幌市食品健康危機管理シミュレーション訓練 実施概要

実施日時：平成30年3月23日（金） 9:30～13:00

訓練参加者：さっぽろオータムフェスト実行委員会、さっぽろオータムフェスト2018会場
管理受託事業者、さっぽろ食の安全・安心推進協定締結事業者、保健所

参加人数：43名（他、見学者8名）

訓練内容

(1) 概要

札幌市内で大型イベント開催中に食品由来が疑われる大規模健康被害の発生を想定した模擬机上訓練を実施

(2) 訓練形式

ア オリエンテーション

訓練スケジュールの説明、食中毒の概要及び事件調査の流れ等についての基本知識を習得する。

イ 机上シミュレーション訓練

事件の探知から初動調査まで（フェーズ1）、原因究明及び被害の拡大防止措置を講じるまで（フェーズ2）について、時系列ごとに付与された状況に応じて取るべき対応を参加者自身が検討するディスカッション形式の訓練

事件のシナリオは、事前に参加者に提示しない。（シナリオ非提示型）

各フェーズ終了後、自己評価表を活用して本訓練及び各参加者の対応状況に係る振り返りを実施

訓練検討結果(抜粋)

(1) 【検討事項】体調不良の申出があった場合に、申出者に確認すべき事項を整理

発症日時、喫食場所、喫食した食事の詳細、病院の受診歴と診断結果、発症前後の食事、同居家族の健康状況、同行者の喫食状況、どこで食べたか？（持ち帰りしたか？）など

(2) 【検討事項】患者から聞き取った疫学情報を取りまとめて、初動対応として必要な事項を整理

【患者疫学情報】

・喫食日時、発症日時、症状、共通する食事の確認 など

【初動対応】

・共通食を提供した店舗の立入、食材の管理等確認、当日の提供数、客数等、従業員の健康状況、同様の申出有無の確認 など



実行委員会、会場管理者、出店者、保健所の参加者が6班に分かれて訓練を実施しました。



進行役と書記を決め、順に付与される状況に応じた検討課題について、班毎に議論して答えを出して発表していただきました。

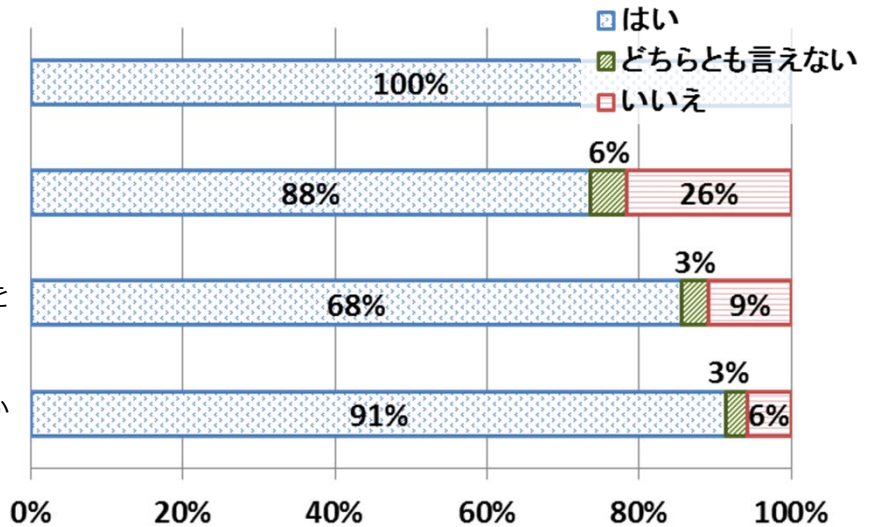


どの班も活発な議論が交わされ、関係者間で積極的に意識共有、情報交換を行っていただき、有意義な訓練とすることができました。

自己評価結果(抜粋)

(1) 有症者からの情報探知について

- ① 体調不良の申出有無を把握できる体制か
- ② 体調不良の申出があった場合、申出者へ確認する事項は決まっているか
- ③ 体調不良の申出があった場合、申出情報を記録できる体制になっているか
- ④ 情報を探知した後の対応が決まっているか



(2) 情報伝達方法について整理する上で、課題と感じた点

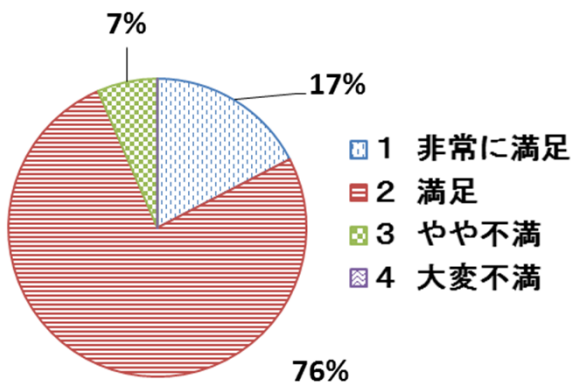
- ・ 関係者が多いため、混乱が生じやすいと感じた。情報の集約を行う担当者を決めておくことが重要と感じた。
- ・ 夜間及び緊急時の連絡体制の整備、意思決定のフロー、伝達体制の整備（誰が何を決定すべきかが不明瞭で、責任の所在が明らかでない。）
- ・ 各患者からの情報を結びつけて共通点を洗い出し、調査を進めることが難しいと感じた。

参加者の感想(抜粋)

- ・ 非常に意義のある訓練だった。自身の認識で至らぬ点があったほか、他参加者からの意見も聞け、今後の運営の一助とすることができた。
- ・ 専門的すぎずわかりやすい内容で対応すべきことの再確認をすることができた。
- ・ 実際に事件が起こった際のシミュレーションができたこと。最悪のシナリオをさけるためにすべきことを確認できた。
- ・ 各業務担当ごとの意見を聞くことができた。設定が身近な内容だったため、よりイメージをもちやすくなった。
- ・ 特に百貨店担当の方の取組みをお聞き出来て、その意識の高さに感嘆した。
- ・ 嘔吐があった場合の対応について出来れば実行レベルで行ってほしい。
- ・ できる限り多くの会場管理者や出店者にも講習・訓練等が実施できればと思う。

参加者アンケート(抜粋)

訓練の満足度について (n=46)



今後の業務に役立つか？ (n=46)

